



↑総合第二位 選手・監督・役員・山形県選出審判員

第37回東北総体空手道競技は8月21、22日の両日、岩手県武道館で開催され、7月11日の県総体後に選抜された県選手団は、毎週日曜日の強化練習会で例年になく厳しい暑さの中、遠藤強化本部長はじめコーチングスタッフの指導の下、県代表の自覚をもち練習に励み、前年の総合成績最下位の屈辱を見事に撥ね返し、総合第2位と躍進することができました。

総合1位の宮城県は92.5点(形競技40点、組手競技52.5点)、本県は63点(形競技8.5点、組手競技54.5点)であったが、組手競技においては6県中第1位であった。これは前回一種目も入賞出来なかった、成年男子、少年男子の優勝、成年男子、少年男子それぞれが3位入賞と団体戦の得点が大きな要因となりました。

個人組手は少年男子は2位、3位、少年女子は3位、成年女子は2位、3位入賞と健闘したもの、成年男子は軽中、重量級3種目の中、3位入賞

2名という厳しい結果に終わってしまっ。選手層の薄さは否めないが、今後関東の大学に在籍している大学生の健闘に期待したい。

形競技における得点は6県中3位であり1位の宮城県には大きく差をつけられてしまっ。入賞は少年女子の2位、3位のみであり、結果国体形競技出場枠4種目8人の内1人しか、出場権を得ることが出来なかったことは誠に残念であった。入賞した少年女子の2人は、小学生、中学生の全国大会において上位入賞の経験があり、小中学生からの一貫した指導は言うまでもなく、全国大会で入賞出来るジュニア選手の養成が即急に望まれる。又指導者が一貫した指導が出来るように、自身のスキルアップを図るべく各流派の正しい形を学び努力する必要があるだ



↑成年女子団体組手優勝 総合二位に大きく貢献した

■とき/平成22年8月21日～22日

■ところ/岩手県宮城武道館

第37回東北総合体育大会空手道競技 第二位

前年、総合成績最下位の屈辱を見事に跳ね返し総合第二位に躍進！

第37回東北総体空手道競技総括

山形県空手道連盟 理事長 深瀬久男

形競技における得点は6県中3位であり1位の宮城県には大きく差をつけられてしまっ。入賞は少年女子の2位、3位のみであり、結果国体形競技出場枠4種目8人の内1人しか、出場権を得ることが出来なかったことは誠に残念であった。入賞した少年女子の2人は、小学生、中学生の全国大会において上位入賞の経験があり、小中学生からの一貫した指導は言うまでもなく、全国大会で入賞出来るジュニア選手の養成が即急に望まれる。又指導者が一貫した指導が出来るように、自身のスキルアップを図るべく各流派の正しい形を学び努力する必要があるだ

今後の取り組みとして、現在県連盟が行っている、ジュニア強化練習会、中学生の強化指定選手の練習会、ジュニアカデミー教室をさらに強固にして、ジュニア層の競技力向上と全国に通じるアスリートを発掘、養成し将来の県選手団の中核となるべく選手を地道に養成することが不可欠であり、一部の指導者のみならず県内の指導者すべての人が選手育成に対し、真剣に取り組まなければならないことを強く感じております。

東北総体成績

少年女子形

第二位 坂上 愛
第三位 佐々木 梓

少年女子組手

第三位 小林 穂薫

少年男子組手

第二位 石井 大喜
第三位 叶内 奨也

成年女子組手

第二位 関東 里佳
第三位 大沼 智里

成年男子組手

軽量級 第三位 成澤 正和
重量級 第三位 原田 昇平

組手団体戦

少年女子 第三位
少年男子 第三位
成年女子 第一位
成年男子 第三位

山形県空手道連盟総会開催！

とき／平成23年2月6日(日)
ところ／山形県スポーツ会館

平成23年度、山形県空手道連盟総会が開催。前年度事業報告ならびに予算審議。本年度の専門部事業計画、大会運営、予算などについて活発な審議が行われました。



山形県空手道連盟会長 飛鳥宗一郎
指導者と選手の活性化がなければ
県連は機能しない

昨年度を振り返りますと様々な大会で小中学生、高校生の大変な活躍がございました。全国大会で入賞を勝ち取るという事は容易な事ではありません。選手はもとより指導育成にあたられました先生方に対して心から敬意を表するところで。

また昨年の大会の中で、大変重要な位置づけになったのが東北総体です。盛岡市武道館にて開催されましたが、結果は総合第2位と優勝には、届かなかったものの、組手に限れば第1位の得点を獲得することが出来ました。

私も監督やスタッフと一緒に試合を見守っておりましたが、最終日に活躍を見せてくれた選手達に対し、私は本当に嬉しく思いながら応援をさせて頂きました。

この実績を踏まえ、今後、県連のレベルが低下しないような取り組みが大切かと思えます。特に重要なのは指導者であり、その指導のもと努力



山形県空手道連盟理事長 深瀬久男
今年は、役員一人一人が強化スタッフをバックアップして団体、全日本で入賞できる選手を育成しよう

3年前、山形で開催された第35回東北総体では、総合成績5位。そして昨年は、屈辱の最下位を経験しましたが、昨年の岩手大会では、総合成績2位に躍進することができ、ほっとした気持ちであります。

また10月の千葉国体、そして12月の全日本大会では個人戦、団体戦ともに健闘したものの、入賞するまでには至りませんでした。

今年は強化スタッフのみならず、役員一人一人が強化スタッフをバックアップして団体、全日本で入賞できる選手を育てるべく、ご協力をお願いしたいと思えます。

選手強化の環として、3回目のジュニアアカデミー空手教室が開催されましたが、日程等の調整が難しく、第1回第2回目と比べ参加者が減少しましたが、内容的には年々充実してきており、大会においてその成果が顕著に表れていると実感しています。

しかしながら、一部には満足を得られない人もいます。事実でありまして、更なる内容の充実が求められています。

各団体におきましても、ジュニア選手の強化、技術向上を目指して多数参加して頂くことを希望します。

また、昨年より競技本部におきまして、評議規定の大幅な改正により、大会へ参加する審判員の審判講習会への参加が義務づけられるようになり、また若い人の資格取得者が増え大変よい傾向にあります。今年は、審判員としての自覚と更なるレベルアップを図り、選手に信頼される審判を目指して頂きたいと思えます。

普及本部におきましては、ホームページの内容を充実させ、行事予定などもいち早く閲覧できるようにしました。

開設してから5年目となりますが、今後は、経費節減などといった面においても県連からの連絡事項や申込みなどは、100%メールにてやり取りしたいと思っております。今年度も皆さまのご協力を仰ぎながら県連の運営にあたりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

《平成23年度 各専門部事業計画》

普及本部

- ①空手ネットワーク18号の発行
- ②技術講習会の実施 4月24日(日)山形市スポーツセンター
- ③公認段審査会の実施
春季：5月29日(日)
冬季：12月4日(日)
- ④中体連加盟活動の推進
- ⑤県連ホームページの管理運営

競技本部

- ①全国公認審判講習会ランク付 4月9日(土)・10日(日)
- ②山形県空手道連盟審判講習会 4月24日(日)・12月4日(日)
- ③国体東北総体への参加審判員・役員・コーチ派遣



④県連主催強化練習への参加
※審判講習会へは技術向上のため、審判員全員の参加をお願いします。

強化本部

- ①国体、東北大会、全日本選手権、代表選手の強化
- ②ジュニア組手強化指定選手の強化育成
- ③第4回山形県ジュニア空手道アカデミーの主管

技術本部

- ①中学校武道必修化資料の提供
 - ②県中学校校長会など関係団体への働きかけ促進
 - ③空手道採用校への支援体制の整備
 - ④技術資料の作成 運動神経の科学その2
- ※新年度事業計画については県連ホームページ「行事予定」のページに掲載

喜びの顔・顔・顔



第6回 樹氷杯ジュニア空手道選手権大会

とき・平成23年2月27日(日) ところ・山形市総合スポーツセンター体育館

蔵王山の樹氷が最も美しい時節にちなみ、小学生・中学生における組手競技力の向上を目的に「樹氷杯ジュニア空手道選手権大会」が開催されました。6回目を迎える今大会には、県内外から過去最高となる437名の選手が参加。とくに県外からも選りすぐりの選手を迎え元気いっぱい熱戦が繰り広げられました。

選手にとっては、本年度、初の公式大会とあって冬期間の練習の成果を試す絶好の機会となりました。

《組手》

- 小学3年生男子個人組手
「3位」武田陸玖(崇武館新庄支部)／佐藤慈弘(崇武館本支部)
- 小学3年生女子個人組手
「準優勝」今野夏芽(荘内空心会)「3位」本間嵯菜(遠藤道場)／古瀬恋春(深瀬道場)
- 小学4年生男子個人組手
「3位」荒木翔太(崇武館新庄支部)
- 小学4年生女子個人組手
「優勝」小林彩乃(崇武館新庄支部)「準優勝」高桑伶奈(崇武館新庄支部)「3位」阿部莉々子(崇武館新庄支部)
- 小学5年生女子個人組手
「優勝」齋藤沙希(崇武館新庄支部)「3位」早坂紫苑(崇武館新庄支部)／元木文(崇武館新庄支部)
- 小学6年生男子個人組手
「3位」阿部拓実(尾浦空手道スポーツ)
- 小学6年生女子個人組手
「3位」大滝佳歩(糸洲会川西支部)
- 中学1年生女子個人組手
「準優勝」国分桃香(崇武館新庄支部)「3位」飛鳥有衣子(崇武館本部)
- 中学2年生女子個人組手
「準優勝」伊藤希恵(崇武館新庄支部)「3位」井上夕希(崇武館新庄支部)
- 小学生女子団体組手
「準優勝」崇武館新庄支部「3位」糸洲会川西支部／余目空友会
- 中学生女子団体組手
「優勝」崇武館新庄支部

第3回 山形県ジュニア空手道アカデミー開講

次世代のトップアスリートを育成しようと、山形県総合運動公園を会場に9月より3回にわたり開講されました。受講生のほとんどがジュニア選抜、ジュニア大会において入賞しています。その受講生に感想を寄せて頂きました。



いろいろな人と組手をする事でより実戦的な練習ができました。

常川 尊秀

鶴岡第五中学校空手道部



アカデミーを受講してから組手と形、両方で勝てる様になりました。

飛鳥 有衣子

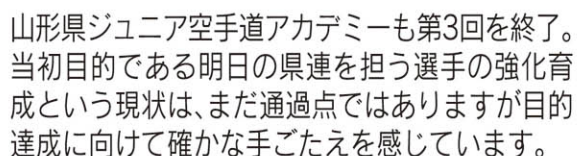
山形市立第十中学校

今年のアカデミーは、例年に比べて人数がとて少ない年でした。その人数の中で、基本から細かいところまで多くの先生に見ていただき、大変感謝しています。組手は、フットワークから試合まで、特に対人練習を長く練習した感じが残っています。

その対人練習で面白い練習がありました。一人の人が三人の中心に立ち出された技に対応しながら技を出す、という練習です。この練習は、対応するの技を出す側でもスピードと対応力が要求されました。それでも自分は「やれた」と思います。形では、流派の違う剛柔流のセンプイと系東流のマツム

先生が新しく前に出るやり方などを教えてくれました。いつもより実戦的な練習をする事ができて良かったと思います。これからの道場練習では、アカデミーで先生が指導してくれたことを頭に入れて、練習に励んで行きたいと思っています。

ラローハイを練習しました。二つとも流派が違い直すのがとても大変でした。センプイは腰の上下と手の形がなかなかうまく決まらず、今回も練習しました。結果、センプイは大会でも何度か勝つことが出来るようになりました。何度もアカデミーで練習したおかげだと思います。アカデミーで練習してから、組手と形、両方が勝てるようになってきました。アカデミーで教えてもらった二つの事が、勝てる結果につながったのだと思います。アカデミーの練習は有意義なものになりました。来年もさらに向上するために参加したいです。



第四回の開催にあたり、現状評価を踏まえさらにレベルアップしたアカデミーにしたいと考えます。

山形県空手道連盟 強化本部長 遠藤隆夫

3

- ①県内各団体から有望なジュニア選手（小学4年生～中学生）を選出して技術講習会を設定する。
- ②各団体の指導者も一緒に技術講習会に参加してもらい、一貫した指導法を学ぶ機会を創り、指導者のスキルアップを図る。
- ③技術講習会では、日体協の公認コーチ資格取得者及び、全日本空手道連盟公認五段以上の有資格者を総動員して指導を行う。
- ④形の統一が遅れている流派の指導には、県外から講師を招聘する。

2

- ①現在、県内でジュニア選手を指導する団体間の指導レベルは、二極化の傾向にあり特にジュニア選手の技術的な満足度が損われており、そのため将来有望なジュニア選手（主に中学生）が空手競技から離れる傾向にある。
- ②少子化の影響で競技人口が減少しつつある中で、将来の山形県を担うジュニア選手を発掘し、トップアスリートに育成する必要がある。
- ③流派により空手の形の統一がされていないため、全国規模の大会での入賞が出来ない。ジュニア選手の時から正しい形を指導する必要がある。

1

現在の山形県の空手道競技レベルは、平成4年地元山形県で開催された、第47回べにばな国体での総合優勝をピークに、その後全国規模の大会入賞者は著しく減少しており、ついに平成17年と18年は、国体や全国規模の大会での入賞者無という、不名誉な結果を残しました。

さらに、平成21年の東北総合体育大会（東北6県が参加で毎年開催）では、6県中最下位という過去最低の成績に終わってしまいました。（※平成22年は宮城県に続き第2位）

山形県連盟としては、これらの結果を真摯に受け止め、ジュニア世代に対して抜本的な強化策を講じることが喫緊の課題であります。

日程

重点项目

練習内容

第1日目 ジュニア空手道アカデミー 9月20日	・正確な立ち方の重要性 ・着眼及び集中力 ・気迫 ・形診断表を基に、個人指導	・第1指定形の練習 - 和道流:セイシャン、チントウ - 糸東流:バツサイダイ、セイエンチン - 剛柔流:セーパイ、サイファ - 松濤館流:カンクウダイ、ジオン
第2日目 ジュニア空手道アカデミー 10月11日	・形診断表を基に、個人指導 ・良いタイミング、バランス、リズム、スピードの研究 ・演武する流派の基本	・第2指定形の練習 - 和道流:ニーセイシー、クーシャンクー - 糸東流:マツムラローハイ、ニーパイポ - 剛柔流:セーサン、クルルンファ
第3日目 ジュニア空手道アカデミー 11月1日	・形診断表を基に、個人指導 ・形試合の判定基準の説明	・第1指定形及び第2指定形で希望の形を個人指導 ・自由形の個人指導



総合評価

ジュニアアカデミーを実施した結果を分析すると、**組手レベルアップの部**では、突き技に固執する選手が多く見受けられた。上段突きのコンタクトが全てペナルティとなるカデットの新ルールを網羅するためには、もっと蹴り技を練習しなければならないことと、何よりも選手自身がカデットの新ルールをしっかりと勉強しなければならない。**形レベルアップの部**においては、実施後にしっかりと成果が表れてきております。これは指導陣がその流派の形に精通していることと、形診断表(カルテ)を使用しての個人指導が奏功したと思われる。形試合に於いて要求されるのは、先ず演武する流派の正確な形であり、指導者はジュニア世代のうちから正確な形を演武できる選手を育成しなければならない。

カルテ

参加者個々に、より細やかな
指導内容がカルテとして手渡されます。

[illegible]

日程

第4回

山形県ジュニア空手道アカデミー

会場：山形市総合スポーツセンター

東北関東大震災の影響で日程を変更短縮して開催します。

第1日目

2011. 5/14(±)

第2日目

5/28(±)

日程変更後の実施要項と受講申込書は4月中旬に各団体責任者まで送付致します。

※受講申し込みは郵送又はメールでも受け付けます。(メールの場合は県連盟HPからダウンロードして下さい。)

～ジュニア選手からトップアスリートを育成～ 山形県ジュニア空手道アカデミーの課題

課題への取り組み

5

課題の解決策として開催した山形県ジュニア空手道アカデミーは、9月に第1回目を開催し11月に終了した。受講者数は組手レベルアップの部と形レベルアップの部の合計62名であった。指導には山形県空手道連盟技術委員会委員、強化本部員及び、県内の日体協の公認コーチ以上で、全空連公認の五段以上の有資格者を合わせて、総勢12名がその任に当たった。県内のジュニア選手を一堂に会しての練習は初体験でもあり、当初は受講者が多くとまどうこともあったが全般的にスムーズに指導ができた。



評価(プラス面の評価)

6

- ①選手の受講している態度が真剣で、目が輝いていた。
- ②選手各々がトップアスリートを目指す意気込みが感じられた。
- ③選手同士のライバル意識が起きてきている。
- ④選手同士が初対面でも、気軽に話をして打ち解けていた。
- ⑤指導方法に新鮮味を感じたせいか、生きいきと練習をしていた。
- ⑥選手と指導者に信頼関係ができた。
- ⑦受講してとても良かった感想が聴こえた。
- ⑧指導者からの適切なアドバイスが好評!
- ⑨目標意識が意欲に変わった。
- ⑩今後の練習に積極的に取り組む意欲が感じられた。
- ⑪指導者から積極的な探究心が感じ取れた。
- ⑫見学した保護者が異口同音に絶賛!
- ⑬保護者のビデオ撮影を許可したので喜ばれた。

プランニング

4

- ①開催する技術講習会の名称を、山形県ジュニア空手道アカデミーとして、受講者を募集する。
- ②パンフレット(受講申込書と事前アンケート)を作成して、各団体へ郵送する。
- ③山形県ジュニア空手道選手権大会のプログラムにパンフレットを挿入し、開催告知をする。
- ④指導する強化本部員と県内の有資格者に事前に参加協力の確認を取る。
- ⑤県内各団体の責任者に、指導者も受講できることを連絡して参加を促す。
- ⑥受講申込み受付時の事前アンケートを集計する。
 - ・組手レベルアップの部はアンケートの分析から、現在の「得意技」と「習いたい技」を掌握して、グループ別に指導プログラムを作成する。
 - ・形レベルアップの部はアンケートの分析から、指導を受けたい形の受講者数と修練度を掌握して、グループ別に指導プログラムを作成する。
- ⑦指導者の担当を決定する。(形の部は流派別に担当者を決定する)

昨年度 指導内容 [組手レベルアップの部]

日 程	重点項目	練習内容
第1日目 ジュニア空手道アカデミー 9月20日	・基本の突き、蹴りの正確性 ・突き技の体勢及び立ち方 ・突き技の引き手及び残身 ・蹴り技の軸足と引き足	・突き蹴りの基本技 ・その場突き及び蹴り ・移動基本 ・組手試合:男女別、学年別 ・ミット打ち:突き技、上中コンビネーション ・蹴り技、上中廻し蹴り ・連続技
第2日目 ジュニア空手道アカデミー 10月11日	・上段突きのコントロール ・上段廻し蹴りのコンタクトの程度 ・転身の重要性 ・間合いのコントロール ・連続技の種類 ・先の先と後の先	・組手移動基本 ・ミット打ち:突き技、上中コンビネーション ・蹴り技、上中廻し蹴り ・連続技 ・組手試合:男女別、学年別 (選手の技量により上の学年と対戦)
第3日目 ジュニア空手道アカデミー 11月1日	・蹴り技のバリエーション ・カウンタータイミング ・崩し技からの攻撃 ・技を出すタイミング ・試合ルールについて	・組手基本移動 ・回り組手 ・組手試合:グループ別対抗戦 ・模範試合の見学と解説 ・組手新ルールの説明と確認



評価(マイナス面の評価)

- ①形の受講者に偏りがあり、流派によって少ない指導者で多数を指導することになった。
- ②アカデミーの練習と自分が通う道場の練習に格差があり、今後が不安。
- ③選手のレベルに格差があり、より多くのグループ分けから指導者不足が生じた。
- ④日程の関係で午前中に組手の部、午後に形の部と時間に余裕がないと指導者から批判。

空手あれこれ談話 (十三)

山形県空手道連盟会長

飛鳥 宗一郎

「べにばな国体」の意義 (五) わが選手団はいかに戦ったか(その二)

前回(昨年号)は、本県選手団第一日目活躍の様様でした。

大会一日目を終わって、私は選手団の宿舎「都旅館」に立ち寄り、選手団を激励してから役員宿舎の「ホテル王将」に帰った。

笹川義副会長(現会長)は帰京されたが、本県役員の他に(財)全日本空手道連盟(以下、「全空連」と略記する)の主要役員、審判員も同宿している。夕食を一緒にしながら、交流が大切と感想など聞きながら席を回った。県外役員や審判員から異口同音に、

①天皇皇后両陛下のご観覧に感動した。
②過去の空手道会場と比較にならない立派な体育館だった。

③競技役員の行動に気持ち良さを感じた。などであった。

しかし、大会は未だ二日間残っている。一日目は何とか無事乗り越えても、目標である総合優勝を達成できるか不安は募るばかりである。

当時の競技規定は、「形競技」は5名の審判員によ



↑戦陣を切って奮闘する吉田選手(少年男子組手)

る点数制で、最高点と最低点がカットされ、残る3人の合計点数で順位を決める点数制であった。一方「組手競技」は、主審と副審1名が向い合うミラー方式という2名制で、6ポイントを取った方が勝ちであった。このように、今とは随分違うルールである。

1 午前戦の模様

10月6日月曜日は好天に恵まれ、予定通り9時に競技は開始された。昨日は唯一一回戦だけで終わった瀬野利幸選手(川崎電気)の組手無差別級2回戦から始まり、手の内を知った秋田県の山崎選手を6-1と圧倒して勝ち進む。続く少年男子組手吉田俊英(東海山形高3年)の3回戦は、難敵の群馬県宮本で、一進一退のシーソーゲームから6-5の一本差で逃げ切る。これで5位以内、最初の入賞を決める。

続いての入賞を懸けた3回戦は、成年男子組手軽量級の横田和浩選手(天童高校教)は兵庫県高橋を6-3、同重量級齋藤彰宏(県スポーツ基金)は長野県山本を6-1、同重量級の飛鳥康弘(県運動公園公社)は熊本県笹川を6-1、同無差別級の瀬野は山梨県針生を6-3でそれぞれ下して5位以内の入賞を決めた。

残る午前中の競技は少年女子形2回戦と組手準々決勝を飾った西堀裕子(天童高校)が入賞を懸けての出番となる。

予選Bブロック1位通過の西堀であるが、腰痛の悪化も懸念されるつえに、この年の少年女子形は後々第一線で活躍する選手が粒揃いであった。栃木県郡司、沖縄県豊見城、大阪府森田、京都府朴原、長野県瀧沢、福岡県駒山等である。7月の宮崎県インターハイで西堀は6位入賞に甘んじており、その後猛練習の成果を問われる場面となる。入賞者が決まるだけあって、この回戦が最も怖い。強豪が次々と高得点を出す中、最後の出番となった西堀に、「つまずかないでくれ」と祈りつつ見守る中「五十四歩」で22.6点を獲得、トップでこの回戦を通過し8位以内の入賞を決めた。駒山(福岡)、森田(大阪)、郡司(栃木)が0-1点ずつの少差で続く。2回戦

の得点が決勝戦まで持ち越しとなるため、順位争いに好条件となったことは確かで、チーム内で決勝進出第1号となる。

続いて少年男子、成年男子組手各級の準々決勝戦である。少年の吉田は岐阜県濱を6-4で敗り勝ち進む。

続いては軽量級の横田選手である。コートに上がった横田の対戦相手は山口県の藤井栄治で、7月の大学(学生)選手権大会の優勝者である。



↑先を取り上段打ちをばなす横田選手(軽量級)

て並んだ藤井が有利となり、ついに5-6で敗戦し5位入賞に終わった。この時点で敗戦は横田唯一人、悔し涙を噛みしめた横田であったが、この悔しさを跳ね返し後に述べる団体戦において奮闘しチームに貢献するのである。

学生界のNO.1と対戦する横田は先手先手に仕掛けて試合を進め、3分のうち残り1分のところで5-3とリードし勝利を目前としたその時、横田は勝利をほほ手中にしたように私は思えたし、横田もようやく5ポイントまで漕ぎ着けたという意識が生まれたように感じた。そればかりが原因ではなからうが、途端に相手の猛追に遭い2ポイントを連取され、残り15秒のところまで追いつかれてしまった。追いついた者の強みか、最後の1ポイントを争うには追っ

12時からの昼食休憩時間では、本県の少年選手たち222名による「空手道少年演武」となる。総指揮者は演武主任の菊地健治理事(現副理事長)で、他に参加団体の指導者が付き添い、持ち時間は入場から退場まで20分間であった。少年と指導者は揃いの真新しい空手衣に「べにばな国体」の胸マークと日の丸の鉢巻きも凛々しく、突き蹴りの基本からヒンヤン(平安)四段の形、約束組手へと、それまで5回の合同練習の成果を十分に発揮し、元気に気魄一杯の技を披露し、万雷の拍手を頂戴した。ひいき目かもしれないが、過去の国体で何度も「少年演武」を見てくるが、指導者選手ともにやる気を結集し、技も力も高レベルで今までにない良い出来だったと今もって確信している。

この演武者の中から、後々各種全国大会の優勝者をはじめ国体の上位入賞者を多数輩出し、その人たちが今県連コーチングスタッフに名を連ねているのは嬉しく思う。

ところが、この少年演武者が終わったところで、私のところに全空連の若林専務理事がきて、今夜緊急の常任理事会を開催したいので宿舎外に会場を準備してほしいとのこと、急遽割烹寿司店の「一休」に予約を入れる。

【午後の部】

午後は男子団体戦から始まった。1回戦は練習を共にした神奈川県と対戦し、先鋒・齋藤、中堅・瀬野、大将・飛鳥で臨み、難なく3-0で勝ち進む。

団体戦1回戦の後には上妻千華選手（日本大学）の成年女子形2回戦である。決勝戦に残らなければ入賞も得点もない。上妻は15番目の登場となるが、予想通り長野県三村、昨年勝者の兵庫県横山が高得点を出してくる。

三村、横山の突出した存在に対して、どの選手も2回戦では最も得意とする形を選択してくる。上妻「泊パッサイ」の演武者力一杯決まって22.5点の得点は、三村、横山に続く3位



↑平成4年10月5日空手道競技をご覧になる天皇・皇后両陛下

差の宮城県阿部、京都府古川、山梨県長谷川の3人である。二日目の最後は入賞を懸けた団体戦だが、この試合を前にして安達男子監督と顔を合わせる。

ながら、同点者は3人いるが無事決勝戦進出を決めた。

次の男子団体戦の相手は長野県で、神奈川との対戦で飛鳥が以前から抱えていた左腰の肉離れが思わしくなかったため大事を取って休ませ、午前中に準々決勝戦で敗退した横田を大将に起用し3-0で勝利する。

続く成年男子形2回戦は、期待の丸山秀人（川崎電気）の登場である。16名中14番目の丸山は、「五十四歩」をしつかりと演武、22.8点の1位通過で決勝戦へと進む。丸山の後に続くのは、0.1点差の奈良県相原、0.2点

【得点の予想】

2日目の日程は終わった。これで総合優勝を懸けた競り合いの構図は東京都と本県に絞られたように思った。壇上で得点計算と分析をしていたが、夕食もそこそこに確認作業に取り掛かる。

天皇杯の総合得点では、東京都が残る種目を最高成績の可能性で計算すると56点、一方本県の最低成績を予想した場合の得点は18点と大差である。1種目を除き勝ち残っているとしても、未だ安心できる状態にはない。最高得点の可能性第3順位は50点の大阪府、第4順位は39点の広島県である。本県が残る8種目が最終日で最悪の成績結果に終わるとは思われないが、早くいらいら状態から抜け出したい

のは関係者全員の願いだったと思う。

皇后杯（女子総合）も同じで、少年女子、成年女子形の二人が勝ち残っていても、最



↑気迫のこもる丸山選手（成年男子形）

【準決勝・3位決定戦】

した全員行動であった。準々決勝戦が一つだけ残っていた。成年男子団体戦である。相手は東北のライバル福島県で、本県の3年後に団体開催が決まっている。お互いの内は分かり切っているからやり難さがある。どうか2-1で接戦を制して準決勝進出を決め、1種目を除き3位以内の入賞は決定した。

いよいよ準決勝戦の開始である。最初は少年男子吉田の登場となる。鹿児島県中島との戦いは苦戦かと思いきや5-2で勝ち上がり、組手最初の決勝戦進出を決める。

次の中量級・齋藤は、日本大学の現役後輩である山口県高山である。先輩齋藤の背中を見て育ってきた日大のイー山高山は、是が非でも齋藤を破って決勝戦に進みたい一心で齋藤を苦しめるが、先輩の要所を締めた戦いが勝り6-4で齋藤が勝ち上がる。

次は重量級と無差別級が同時に始まり、飛鳥が先に瀬野が後に戦う。飛鳥の相手は沖縄県の泉川で昨年石川国体3位の選手である。試合は一進一退ポイントの取り合いの接戦となり、20秒を残して5-5となる。飛鳥は過去の国体や全日本大会では、最後の同

2 最終日の戦いの模様

いよいよ最終日の決戦の火蓋は切って落された。10年間に及ぶ準備と強化策への努力もこの日のため、泣くも笑うもこれで決まる。初日の開戦を前に『不退転の決意で、力の限り頑張ろう』の決意で始まったが、競技運営も合わせて考えれば、費やした尊い歳月と労苦、そして何よりも大切だったのはお互いに信じ合い、誠意と情熱の限りを尽く

点勝負となった試合を一度も落としていなかった。安心というほどではないが、最後の一つは必ず飛鳥に來ると思った矢先、強く踏み込んだ中段突きが見事に決り接戦を凌いだ。

この時、観覧席の大歓声を聞いた瀬野は、鹿児島県新鋭の仁木（福岡大学）との対戦は絶対に落とせなと思ったと後に語る。仁木の準々決勝戦は福島県の二瓶で、結果は接戦の6-5で勝利した試合を瀬野はしっかりと観ていたと言った。仁木の戦法を念頭に置いた戦術が効を奏し、瀬野の6-4勝ちとなる。吉田、齋藤、飛鳥、瀬野の個人戦3名が決勝戦進出となり、ここで東京は無差別級を落とした。

準決勝戦最後の団体戦は、近畿大学工学部部員で固める広島県で、齋藤と横田が勝ち勝負を決める。

10時30分、各コートで3位決定戦が始まるが、全員勝ち残ったので本県の出番はない。

この間に改めて得点予想を確認すると、本県は最悪なら40.5点、東京都が最高成績なら46点となり、広島県は残り選手なし、大阪府は最高成績を挙げてももう及ばない。いかなる結果となるやら、決勝戦を待たなければならぬ。次回は、その決勝戦をいかに戦ったかを語りましょう。

平成22年度

大会ハイライト

第10回全日本少年少女空手道選手権

大会山形県予選会

第18回全国中学生空手道選手権大会

山形県予選会

5月9日(日)

山形県総合運動公園サブアリーナ

《形》

小学1年生女子個人形

1佐藤鈴華(八幡小)

2池田聖菜(条小)

小学2年生女子個人形

1阿部瑠奈

(長岡小)

2阿部莉奈

(牛瀬小)

小学3年生女子個人形

1渡部紗弓

(平野小)

2吉見彩

(西山小)

小学4年生女子個人形

1阿部莉々子

(沼田小)

2佐藤穂果

(北辰小)

小学5年生女子個人形

1齋藤沙希(北辰小)

2阿部若菜(長岡小)

小学6年生女子個人形

1古山花(万世小)

2菅原清(山附小)

小学1年生男子個人形

1緑川蓮(橋岡小)

2朝倉海斗(伊佐沢小)

小学2年生男子個人形

1安孫子廉(寒河江中部小)

2佐藤銀河(京田小)

小学3年生男子個人形

1渡辺敬斗(長井小)

2古山新汰郎(万世小)

小学4年生男子個人形

1荒木翔太(新庄小)

2原田駿(赤湯小)

小学5年生男子個人形

1今野裕吾(朝陽第一小)

2荒木一成(新庄小)

小学6年生男子個人形

小学6年生男子個人形

1池原渉平(萩野小)

2松浦康太(朝陽第六小)

中学生男子個人形

1佐々木梢(明倫中)

1井上夕希(新庄中)

2河野美波(鶴岡二中)

中学生男子個人形

1石井友喜(米沢一中)

2齋藤連(明倫中)

中学生男子団体形

1米沢一中



《組手》

小学1年生女子個人組手

1天野響音(東根小)

小学2年生女子個人組手

1高桑愛香(寒河江西根小)

小学3年生女子個人組手

1牧野流果(清延小)

2本間嵯菜(長井小)

小学4年生女子個人組手

1小林彩乃(沼田小)

2高桑伶奈(沼田小)

小学5年生女子個人組手

1島貫菜花(宮内小)

2元木文(本海小)

小学6年生女子個人組手

1大滝佳歩(大塚小)

小学1年生男子個人組手

1石山太郎(山形南小)

2飯野元暁(川土居小)

小学2年生男子個人組手

1相沢歩生(蔵王小)

小学2年生男子個人組手

小学2年生男子個人組手

2川俣涼高(八幡小)

小学3年生男子個人組手

1佐藤慈弘(山形南小)

2本多瞬(八幡小)

小学4年生男子個人組手

1佐藤大志郎(朝陽第一小)

2高橋昂希(大川小)

小学5年生男子個人組手

1安部夢有人(米沢南部小)

2木村史玖(米沢愛宕小)

小学6年生男子個人組手

1廣木駿(大山小)

2阿部拓実(大山小)

中学生女子個人組手

1小林未侑(明倫中)

2佐々木梢(明倫中)

中学生男子個人組手

1元木貴(八向中)

2石井友喜(米沢一中)

中学生女子団体組手

1明倫中

2山形四中

中学生男子団体組手

1日新中

2米沢一中

小学4年生男子個人組手

1松永政和(サイクロンドツナガ)

2舟越正(みずほの里)

女子個人組手

1渡辺曜子(山形県庁)

2飯野美智子(さの医院)

男子個人組手(有級)

1種村昇(山形県庁)

2島貫孝(大成塗装⑩)

3腰越純一(THK⑩山形工場)

3根元和明(THK⑩山形工場)

男子個人組手(35歳以上)

1舟越正(みずほの里)

2和泉慎史(THK⑩山形工場)

3松永政和(サイクロンドツナガ)

3本間務(自営)

男子個人組手(有段者)

1伊藤学(⑩斉藤農機製作所)

2鈴木祐介(陸上自衛隊神町)

小学4年生男子個人組手

小学4年生男子個人組手

小学4年生男子個人組手

小学4年生男子個人組手

第28回山形県ジュニア空手道選手権大会

7月4日

山形県総合運動公園体育館

《形》

小学1年生男子形

1小林聖(浜中小)

2飯野元暁(川土居小)

3朝倉海斗(長井伊佐沢小)

3伊藤涼(沼田小)

小学1年生女子形

1池田聖菜(条小)

2佐藤鈴華(八幡小)

3黒木涼香(山形八小)

3志田菜摘(寒河江南部小)

小学2年生男子形

1安孫子廉(中部小)

2星川愛斗(泉田小)

3飯野史恩(高松小)

3川俣涼高(八幡小)

小学2年生女子形

1阿部瑠奈(天童長岡小)

2片倉菜結(長崎小)

3長沼彩花(長崎小)

3早坂陽那(萩野小)

小学3年生男子形

1古山新汰郎(米沢万世小)

2石田聖哉(沼田小)

3高橋瑞希(山附小)

3柿崎翔舞(山附小)

小学3年生女子形

1吉見彩(西山小)

2渡部紗弓(長井平野小)

3牧野流果(清延小)

3三木とも(寒河江中部小)

小学4年生男子形

1荒木翔太(新庄小)

2石田聖(沼田小)

3原田駿(赤湯小)

3竹俣海志(山形七小)

小学4年生女子形

1佐藤穂果(北辰小)

2阿部莉々子(沼田小)

3飯塚郁美(酒田泉小)

3高桑伶奈(沼田小)

小学5年生男子形

1安部夢有人(米沢南部小)

2荒木一成(新庄小)

3佐藤紀一郎(朝陽一小)

3今野裕吾(朝陽一小)

小学5年生女子形

1齋藤沙希(北辰小)

2阿部若菜(長岡小)

3元木文(本海小)

3大宮楓花(新庄小)

小学6年生男子形

1池原渉平(萩野小)

2武田祐汰(沼田小)

3細矢魁斗(神町小)

3齋藤述比呂(朝陽一小)

小学6年生女子形

1古山花(米沢万世小)

2菅原清(山附小)

3齋藤伶奈(本海小)

3武田紗耶(鈴川小)

中学1年生男子形

1安部文弥(米沢一中)

2叶内史也(日新中)

3川川裕斗(米沢中)

3飯野慎也(米沢三中)

中学1年生女子形

1園分桃香(新庄中)

2阿部薫子(明倫中)

3三沢李沙(蔵王中)

3長岡里奈(長井北中)

中学2年生男子形

1齋藤連(明倫中)

2田中寿英(米沢三中)

3市川広樹(米沢中)

3横田駿介(山形十中)

中学2年生女子形

1伊藤希恵(日新中)

2金沢奈由(山形十中)

3加藤あすか(山南中)

3河野美波(鶴岡一中)

中学3年生男子形

1宮川晃(酒田二小)

2石井友喜(米沢一中)

3田澤大志(日大山形中)

3田村寛司(日新中)

中学3年生女子形

1佐々木梢(明倫中)

2菊池那奈(飛鳥中)

3新野由佳(白鷹西中)

3武田莉奈(山形四中)

小学1年生男子組手

1高橋慶(西山小)

2佐藤元基(八幡小)

3青柳成(東根中部小)

3石山太郎(山形六小)

小学1年生女子組手

1黒木涼香(山形八小)

2大野響音(東根小)

小学2年生男子組手

1館内直哉(山形七小)

2板垣佑亮(上山小)

3松島優雅(港南小)

3相沢歩生(蔵王小)

小学2年生女子組手

1高桑愛香(寒河江西根小)

2南川優希(宮浦小)

2阿部若菜(天童長岡小)

3片倉菜結(長崎小)

小学3年生男子組手

1古山新汰郎(米沢万世小)

2石井光喜(米沢南部小)

3齋藤伸(米沢松川小)

3渡辺敬斗(長井小)

小学3年生女子組手

1黒木陽美(山附小)

2深瀬伊代(鈴川小)

3近藤優(橋岡小)

3牧野流果(清延小)

小学4年生男子組手

1佐藤大志郎(朝陽一小)

2荒木翔太(新庄小)

3峰田悠生(校田小)

3俣海志(山形七小)

小学4年生女子組手

1佐藤穂果(北辰小)

2小林彩乃(沼田小)

3阿部莉々子(沼田小)

3大江佑奈(寒河江南部小)

小学5年生男子組手

1木村史玖(米沢愛宕小)

2佐藤紀一郎(朝陽一小)

3小野大崎(若浜小)

3小川優(長瀬小)

小学5年生女子組手

1齋藤沙希(北辰小)

2加藤千晴(三郷小)

3島貫菜花(宮内小)

3島貫菜結(宮内小)

小学6年生男子組手

1廣木駿(大山小)

2佐藤遼也(米沢西部小)

3池原渉平(萩野小)

3中村時男(浜田小)

小学6年生女子組手

1武田紗耶(鈴川小)

3田澤大志(日大山形中)

2大滝佳歩(大塚小)

3菅原清(山附小)

3古山花(米沢万世小)

中学1年生男子組手

1荒井薫(山形四中)

2藤井杜社(余目小)

3飯野慎也(米沢三中)

3安部文弥(米沢中)

中学1年生女子組手

1飛鳥有衣子(山形十中)

2園分桃香(新庄中)

3大内佑美香(金井中)

3阿部薫子(明倫中)

中学2年生男子組手

1金子裕哉(米沢七中)

2飯塚銀弥(酒田六中)

3中村和磨(酒田八中)

3市川広樹(米沢中)

中学2年生女子組手

1井上夕希(新庄中)

2伊藤希恵(日新中)

3河野美波(鶴岡一中)

3古瀬未欧(山形四中)

中学3年生男子組手

1元木貴(八向中)

2田澤大志(日大山形中)

3後藤勇崇(飛鳥中)

小学3年生女子組手

1小林未侑(明倫中)

- ②佐々木梢(明倫中)
③菅原菜幹(米沢三中)
③武田莉奈(山形四中)

第43回山形県空手道選手権大会
◎9月19日(日)
◎酒田南高等学校体育館

◎形

- 高校男子形
①叶内聖也(酒田南高校)
②森山凌(天童高校)
③草刈光(東海大学山形高校)
③土田秀治(新庄北高校)
一般・高校女子形
①坂上愛(新庄北高校)
②大石弓恵(東海大学山形高校)
③今野桃(天童高校)
③小野梓(天童高校)
一般男子
①松永政和(サイクロンドモツナガ)
②高橋直起(庄内ヨロイ)
◎個人組手
①齋藤拓真(酒田南高校)
②豊後伶(東海大学山形高校)
③渡辺太樹(東海大学山形高校)
③叶内聖也(酒田南高校)
一般・高校女子A
①仙士才(酒田南高校)
②佐藤榛香(酒田南高校)
③小林穂香(酒田南高校)
③遠田ゆかり(酒田南高校)
一般・高校女子B
①奥山優衣(天童高校)
②星川茜(酒田南高校)
③金子成美(南陽高校)
③今野桃(天童高校)
一般男子A
①原田昇平(日本大学)
②伊藤真太郎(日本大学)
③石井大喜(東海大学山形高校)
③加藤大貴(東海大学山形高校)
一般男子B
①林崎明義(東ソー・SMC)
一般男子有級者
①島賢孝(島賢メソテナス)
◎団体組手
高校男子
①東海大学山形高校
②酒田南高校
③天童高校
③天眞学園高校
高校女子
①酒田南高校
②南陽高校
③新庄北高校
一般男子
①荘空館
②尾浦空手道

第18回山形県青少年空手道交流
大会
◎10月3日(日)
◎山形県立天童高等学校体育館

◎形

- 男子総合
①新庄市空手道入部少年団
②米沢市空手道入部少年団
女子総合
①新庄市空手道入部少年団
②川西町空手道入部少年団
男子団体形
①新庄市空手道入部少年団B
②新庄市空手道入部少年団A
③鶴東空手会空手道入部少年団



- ①武田紗耶(鈴川深瀬道場空手入部少年団)
②島貫菜穂(川西町空手道入部少年団)
③島貫菜花(川西町空手道入部少年団)
③大滝佳歩(川西町空手道入部少年団)
男子個人形
①菅原渉平(新庄市空手道入部少年団)
②細矢魁斗(天童市空手道入部少年団)
③今野裕吾(鶴東空手会空手道入部少年団)

- 女子個人形
①齋藤沙希(新庄市空手道入部少年団)
②阿部莉々子(新庄市空手道入部少年団)
③菅原清か(新庄市空手道入部少年団)
◎崇武館空手道入部少年団
◎阿部若菜(天童市空手道入部少年団)
◎阿部若菜(天童市空手道入部少年団)
◎高橋魁音(米沢市空手道入部少年団)
◎高橋真史(鈴川深瀬道場空手入部少年団)
◎佐藤大志郎(鶴東空手会空手道入部少年団)
◎佐藤大志郎(鶴東空手会空手道入部少年団)

第21回山形県ジュニア選抜空手道選手権大会
◎11月14日(日)
◎山形県運動公園体育館メインアリーナ

◎形

- 小学一年生男子
①小林聖(浜中)
②緑川凌(福岡小)
③伊藤涼(沼田小)
③飯野元暁(川土居小)
小学二年生男子
①中安晴太(松原小)
②星川愛斗(泉田小)
③飯野史恩(高松小)
小学三年生男子
①石井光喜(米沢南部小)
②佐藤琉惟(新庄小)
③斎藤伸(松川小)
小学四年生男子
①荒木翔太(新庄小)
②緑川凌(福岡小)
③高梨真史(鈴川小)
③我妻柚希(米沢南部小)
小学五年生男子
①荒木一成(新庄小)
②渡部玲(日新小)
③安部夢有人(米沢南部小)
小学六年生男子
③今野裕吾(朝陽二小)
小学一年生女子
①飯野慎也(米沢三中)
②叶内史也(日新中)
③安部文弥(八幡小)
小学二年生女子
③市川裕斗(米沢中)
小学三年生女子
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③市川広樹(米沢中)
小学四年生女子
③橋田駿介(山形十中)
小学一年生男子組手
①飯野慎也(米沢三中)
②叶内史也(日新中)
③安部文弥(八幡小)
小学二年生男子組手
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③市川広樹(米沢中)
小学三年生男子組手
③橋田駿介(山形十中)
小学一年生女子組手
①飯野慎也(米沢三中)
②叶内史也(日新中)
③安部文弥(八幡小)
小学二年生女子組手
③市川裕斗(米沢中)
小学三年生女子組手
①齋藤連(明倫中)
②田中寿英(米沢三中)
③市川広樹(米沢中)
小学四年生女子組手
③橋田駿介(山形十中)

- ①片倉菜結(長崎小)
②阿部瑞奈(長崎小)
③佐藤ひまわり(万世小)
③阿部莉奈(牛瀬小)
小学三年生男子組手
①吉見彩(西山小)
②渡部紗弓(平野小)
③牧野流果(清延小)
小学四年生男子組手
③牧場海(尾花沢小)
小学一年生男子組手
①阿部莉々子(沼田小)
②佐藤穂果(北原小)
③高桑伶奈(沼田小)
小学二年生男子組手
③小林彩乃(沼田小)
小学三年生男子組手
①齋藤沙希(北原小)
②阿部若菜(長崎小)
③元木文(本合海小)
小学四年生男子組手
③佐藤李咲(米沢西部小)

- 小学五年生男子組手
①古山花(万世小)
②菅原清か(山附小)
③樋渡伶華(本合海小)
小学六年生男子組手
①古山花(万世小)
②菅原清か(山附小)
③樋渡伶華(本合海小)
小学一年生女子組手
①齋藤沙希(北原小)
②阿部若菜(長崎小)
③元木文(本合海小)
小学二年生女子組手
③佐藤李咲(米沢西部小)
小学三年生女子組手
①古山花(万世小)
②菅原清か(山附小)
③樋渡伶華(本合海小)
小学四年生女子組手
③佐藤李咲(米沢西部小)
小学五年生女子組手
①古山花(万世小)
②菅原清か(山附小)
③樋渡伶華(本合海小)
小学六年生女子組手
③佐藤李咲(米沢西部小)

- ①佐藤紀郎(朝陽二小)
②佐藤玲惟(新庄小)
③安部夢有人(米沢南部小)
小学六年生男子組手
①廣木駆(大山小)
②大志田隆介(神町小)
③阿部拓実(大山小)
小学一年生男子組手
③松浦康太(朝陽二小)
小学二年生男子組手
③飯野慎也(米沢三中)
②叶内史也(日新中)
③安部文弥(八幡小)
小学三年生男子組手
③飯野元暁(川土居小)
小学四年生男子組手
③飯野史恩(高松小)
小学五年生男子組手
③飯野史恩(高松小)

- 小学六年生男子組手
③飯野史恩(高松小)
小学一年生女子組手
①飯野慎也(米沢三中)
②叶内史也(日新中)
③安部文弥(八幡小)
小学二年生女子組手
③飯野元暁(川土居小)
小学三年生女子組手
③飯野史恩(高松小)
小学四年生女子組手
③飯野史恩(高松小)
小学五年生女子組手
③飯野史恩(高松小)
小学六年生女子組手
③飯野史恩(高松小)

第18回 全国中学生空手道選手権大会

男子個人組手 第三位・女子団体組手 第五位入賞

悲願の優勝まであと一歩！毎年の入賞は、指導者・選手の努力。そして樹氷杯、空手道アカデミー県連強化の賜。

男子個人組手、元木貴選手が第三位入賞！

女子団体組手では、新庄市立明倫中学校が第五位入賞を果たしました。
メンバーは、小林未侑、佐々木梢・阿部薫子、阿部俊子の4名の選手です。

毎年の入賞は、指導者ならびに選手それぞれの努力の結果であります。次世代をなう選手の強化育成に力を入れてきた県連の取組みの成果が着実に現れてきていると確信しています。



おめでとう！入賞を果たした選手にインタビュー！

空手は何年やっているの？どのくらい練習しているの？

そんな質問を活躍した選手にインタビューしました。

- 1、空手を始めたのは？何歳？
- 2、始めるきっかけは？
- 3、練習はどのくらいしている？
- 4、特別な練習メニューはある？
- 5、大会前の練習量は？
- 6、得意な技は？
- 7、自分を励ます言葉、好きな言葉ある？
- 8、入賞した時はどんな気持ち？
- 9、だれに一番感謝したい？
- 10、これからの目標は？
- 11、後輩たちに一言？

男子個人組手 第三位

●元木 貴選手

- 1 小学校2年生
- 2 キックはよく覚えていない
- 3 ほぼ毎日2時間
- 4 週回の筋トレ、サーキットトレーニング
- 5 中段のカウンター突き
- 6 二心不乱
- 7 つれしかたです
- 8 準決勝まで6回戦いました
- 9 先生方、両親に感謝
- 10 インターハイを目指します
- 11 上位入賞を目指して下さい

女子団体組手

●小林 未侑選手

- 1 年長の終わりが
- 2 姉の空手の練習を見学に行くと
- 3 佐々木梢さんがいたことで「やめ」を決めました



- 4 ほぼ毎日2時間、3時間
- 5 土田道場で勝つための練習（内容は秘密）
- 6 中段突き・中段の後ろ蹴り
- 7 つれしい気持ちと悔しい気持ちが入り混じっている
- 8 武田支部長・土田先生
- 9 インターハイ一年から出場！そして結果を残す
- 10 女子組手個人でまだ上位入賞がないのでがんばってほしい

●佐々木梢選手

- 1 小学校入学する少し前
- 2 姉が空手をしていたから
- 3 ほぼ毎日2時間くらい
- 4 毎日、自主練2時間、道場練習2時間
- 5 形・セーバイ 組手：上段突き
- 6 努力は自分を裏切らない
- 7 優勝を目指していたので悔しかった
- 8 でもやはりうれしい気持ちもあつた
- 9 先生、親、仲間。自分に協力

してくれたすべての人

- 11 また新たに自分の目標を見つけて努力したい
- 12 自分の目標に向かって最大限努力して下さい。応援しています。

●阿部俊子選手

- 1 中学年生
- 2 未侑さん、梢さんが空手をやっているのを見てカッコイイなあと、思っ
- 3 ほぼ毎日
- 4 水曜日にトレーニングをしていた
- 5 毎日2時間、3時間
- 6 組手：中段突き
- 7 がんばれ！努力はつそをつかない
- 8 つれしかた！
- 9 先生方、家族
- 10 新たな自分の目標に向かってがんばりたい
- 11 今までありがとう！自分の目標に向かってがんばれ！

●阿部薫子選手

- 1 5年生のときです
- 2 姉が空手を始めたから
- 3 毎日
- 4 水曜日にトレーニングがあります
- 5 組手：中段突き
- 6 練習はつそをつかない
- 7 初出場5位はうれしかった
- 8 支部長や先生方、送り迎えをしてくれた両親
- 9 来年も全国大会に出ること

監督コラム



崇武館新庄支部
土田 秀也

満足しないぜいたく

監督として最後の大会となった第18回全国中学生空手道選手権大会（宮城）を振り返るの思いを書きます。

まず大会の成績は、男子個人組手3位（元木貴）、女子団体組手5位（明倫中）、女子個人形（佐々木梢）、組手（小林未侑）がベスト16と第16回（長崎）、第17回（福岡）について3位と5位を確保することができた。一つのコー

トで各県の代表24チーム又は個人が競い最後まで勝ち抜いたものがベスト8であり、選手達の健闘は賞賛に値する。一方、監督としての評価は、今でも手元に残る団体組手のオーダー表がすべてを物語っている。ベスト4をかけた女子組手団体戦で、対戦チームの監督は控えの場所です選手が整列したのを見届けてから、オーダー表を書いて提出したのである。許されることとは別に、監督としては駆け引きに負け選手達にはベスト8でも喜ばない原因を作ってしまったことになった。

第12回（大分）大会より、組手のルールが大きく変わり、触れたら取らないさらに、触れたら警告となり、有力な選手が次々に敗退していった

ことは記憶に新しい。しかし、その後の大会でもルールが徹底されたとは決して言えるものではないが、去年より高校生にも適用される変更を機に、練習のテーマを増やした。それは、10cmの間合いを制し、集中力を切らさないものだけが勝てることを理解させることであり、梁瀬先生が担当した。

第10回（岡山）の男子団体組手（明倫中）でベスト8に入ってから、日新中、新庄中、舟形中などが毎年のように入賞を果たすことができた。これは樹氷杯やアカデミーの開催など県連の強化体制の賜物であり、支部においては菊地師範代と武田支部長の強いリーダーシップと熱心な指導のおかげと感謝します。

菊地健治副理事長に感謝状

全国中学生空手道選手権大会において10年間、審判員としての貢献が認められ全国中学校空手道連盟より感謝状が授与されました。

ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。



写真中央が
菊地副理事長

平成22年度 公認段位・公認審判員 合格者

少年の部

初段

工藤 混生 酒田拳勇館
齋藤 沙希 崇武館新庄
笹原 渉平 崇武館新庄
武田 祐汰 崇武館新庄
叶内 史也 崇武館新庄
国分 桃香 崇武館新庄
齋藤 蓮 崇武館新庄
石井 友喜 米沢市入水少「嵐」

貳段

後藤 勇崇 酒田拳勇館

高校・一般の部

初段

小野 梓 天童高校
土田 楓 天童高校
板垣 勇多 天童高校
鈴木 拓真 天童高校
小山 洋夢 天童高校
今野 桃 天童高校
横 唯人 天童高校
奥山 優衣 天童高校
土田 秀治 崇武館新庄
渡部 恭平 崇武館新庄
渡辺 知里 崇武館新庄
佐藤 璃奈 崇武館新庄
福盛 なみ 崇武館新庄
村上 美空 崇武館新庄
平間 友貴 崇武館新庄
加藤 由季 崇武館新庄
嶋津 由美 崇武館新庄

渡辺 太樹 東海大山形
豊後 怜 東海大山形
遠田 ゆかり 酒田南高校
佐藤 榛香 酒田南高校
齋藤 拓真 酒田南高校
須藤 卓 酒田南高校
高橋 秀徳 酒田南高校
梶原 涼司 酒田南高校
田村 寛司 崇武館新庄
叶内 奨也 崇武館新庄
小林 穂薫 崇武館新庄
仙台 充功 崇武館新庄
佐藤 麻美 崇武館新庄
佐藤 直紀 崇武館新庄
佐藤 翔 和道会鶴岡
遠藤 瞭太 和道会鶴岡
松田 佳丈 和道会鶴岡
影沢 允 酒田拳勇館
小山 真澄 安達道場
鈴木 誠二 安達道場
中川 久仁子 崇武館天童
高橋 正人 酒田拳勇館
鈴木 祐介 安達道場
海藤 佳奈 山形大学

貳段

石井 大喜 東海大山形高
関東 里佳 崇武館本部

参段

齋藤 力 崇武館新庄
高田 晴美 崇武館本部

全国公認審判員合格者

山村 伸行 崇武館本部

地区公認審判員合格者

安達 善也 安達道場
中村 武士 荘空館空手道場

県公認審判員合格者

小林 洋一 崇武館新庄支部
佐藤 宏 崇武館新庄支部
鈴木 健一 崇武館本部
伊藤 直紀 崇武館新庄支部
鈴木 祐介 安達道場
高橋 順弘 安達道場
林崎 朋義 米沢市空手道
上野 薫 尾浦空手道
スポーツ少年団
スポーツ少年団

祝

全国公認審判員合格 山村伸行さん

ルール改正直後の全国組手審判員受審は、大変プレッシャーがかかるものですが、多くの先生方からご指導頂いたおかげで無事合格することができました。今後も選手から信頼される審判員になるよう研鑽して参ります。



ホット! NEWS

日本スポーツマスターズ2010 三重大会 米澤五条空手クラブ 大武政通選手 四回戦進出!

吉玉宗生師範からの「教え子達に背中を見せる」の一言に心を動かされ、40歳となりマスターズに出場することを決意しました。初出場、相手は前年度3位入賞の強豪、必死に攻め続け5対0、勝利を確信したところに出会いの中段が、そして急な息切れ、結果は逆転負け、肋骨骨折のおまけもつき散々なデビュー戦となってしまいました。悔しい思いで終わった矢先、交流大会において「嵐」の教え子達は、全学年組手優勝という成績を収め、私の悔しさを晴らしてくれました。

「指導」とは指導者自身も目指す方向に教え子達と一緒に汗を流し努力していくこと、大会へ出場したことによって学ぶことができました。今後も体力・気力が続く限り、背中を見せ続けていきたいと思っています。最後に、かつて山形を背負った名選手、そして先生方、現役当時のような動きは出来なかもしれませんが、試合が終わった後の酒は最高です!是非出場してみてください。お待ちしております。

目指すは優勝!
背中を見せ続ける。



← 左より、大武・原田・菊地・中村・梅津・本間・船越の参加選手
※中村雄二郎選手は、現在84歳。第一回大会より10年連続出場。生涯現役を貫き通す。



平成23年度 山形県空手道連盟 事業・行事計画

※日程、場所等は変更になる場合があります。要項やHPを事前に確認してください。

日 程	事 業・行 事	場 所
1 / 14 (金) ～16 (日)	第24回 東北高等学校選抜大会	郡山総合体育館
2 / 6 (日)	平成23年度 山形県空手道連盟定例総会	山形県スポーツ会館
2 / 27 (日)	第6回 樹氷杯ジュニア選手県大会	山形市総合スポーツセンター
3 / 24 (木) ～26 (土)	全国高校選抜大会 鹿児島県 中 止	鹿児島アリーナ
3 / 28 (月) ～30 (水)	第5回 はなます杯全国中学生選抜大会 中 止	北海道/北広島市総合体育館
4 / 24 (日)	山形県審判員協議会総会・講習会・審査会	山形市総合スポーツセンター
4 / 24 (日)	第7回 東北学生個人選手権大会 中止	宮城県武道館
4 / 30 (日)	ジュニア強化指定選手練習会	山形県武道館
5 / 4 (水) ～ 5 (木)	第28回 火の国旗全国高校優勝大会	熊本市総合体育館
5 / 7 (土)	村山地区高校総体空手道競技	東海大学山形高校
5 / 7 (土)	飽海地区高校総体空手道競技	酒田南高校
5 / 8 (日)	第11回 全日本少年少女選手権大会 山形県予選会	山形県総合運動公園
5 / 8 (日)	第19回 全国中学生選手権大会 山形県予選会	サブアリーナ(予定)
5 / 15 (日)	第14回 東北中学生選手権大会	宮城県武道館
5 / 15 (日)	第33回 山形市選手権大会	山形市スポーツセンター
5 / 29 (日)	第41回 県社会人選手権大会	山形県武道館剣道場
5 / 29 (日)	県公認段位(初～三段)審査会	山形県武道館剣道場
5 / 14 (土)	第4回 ジュニア空手道アカデミー①	山形市総合スポーツセンター
5 / 28 (土)	第4回 ジュニア空手道アカデミー②	山形市総合スポーツセンター
6 / 5 (日)	山形県高校総体空手道競技	山形市総合スポーツセンター
6 / 24 (金) ～26 (日)	東北高校選手権大会 青森県	十和田市総合体育センター
6 / 26 (日)	東北大学総体空手道競技	秋田市立体育館
7 / 3 (日)	第28回 山形県ジュニア選手権大会	山形市総合スポーツセンター
7 / 10 (日)	第66回 国体・第38回東北総体山形県予選会	山形県総合運動公園サブアリーナ
7 / 30 (土) ～ 8/2 (火)	第38回 全国高校総体体育大会 (インターハイ)	青森県十和田市総合体育センター

日 程	事 業・行 事	場 所
8 / 19 (金) ～21 (日)	第19回 全国中学生選手権大会	群馬県総合スポーツセンター
8 / 26 (金) ～28 (日)	第38回 東北総体空手道競技会 宮城県	名取市民体育館
9 / 10 (土)	村山地区高校総体秋期大会(新人戦)	天童高校体育館
9 / 10 (土)	飽海地区高校総体秋期大会(新人戦)	酒田南高校
9 / 17 (土) ～19 (月)	日本スポーツマスターズ 2011 空手道競技会	石川県加賀市 スポーツセンター
9 / 18 (日)	第44回 山形県空手道選手権大会	南陽高校体育館
9 / 24 (土)	第9回 東北大学選手権大会新人戦・団体戦	宮城県武道館
10 / 2 (土)	第18回 山形県少年少女スポーツ交流大会	天童高校体育館
10 / 8 (土) ～10 (月)	第66回 国民体育大会空手道競技会	山口県長門市ルネッサ ながと
11 / 6 (日)	第27回 山形県高校新人大会	山形県総合運動公園サブアリーナ
11 / 13 (日)	第22回 山形県ジュニア選抜選手権大会	庄内地区
11 / 13 (日)	全中選抜県予選会	庄内地区
12 / 4 (日)	県審判講習会・公認段位(初～三段)審査会	山形県総合運動公園剣道場
12 / 10 (土)	第39回 全日本選手権大会(団体戦)	東京武道館
12 / 11 (日)	第39回 全日本選手権大会(個人戦)	日本武道館

平成24年度

1 / 4 (金) ～ 6 (日)	第25回 桃太郎杯全国高校錬成大会	岡山県岡山市桃太郎アリーナ
1 / 20 (金) ～22 (日)	第25回 東北高校選抜大会	岩手県宮城野町
2 / 5 (日)	平成24年度 山形県空手道連盟定例総会	山形県スポーツ会館
2 / 26 (日)	第7回 樹氷杯ジュニア選手権大会	山形市総合スポーツセンター
3 / 26 (月) ～28 (水)	第31回 全国高校選抜大会	岡山県・桃太郎アリーナ
3 / 29 (木) ～31 (土)	第5回 はなます杯全国中学生選抜大会	北海道北広島市総合体育館

<http://yamagataken-karatedo.jp/>

県連の最新情報をお伝えします。

山形県空手道連盟

検 索